

各 位

2026 年 9 月 11 日
株式会社リットーミュージック

ギター・マガジン 2026 年 10 月号は本日発売！
世界で大ブレイク中の高中正義を大フィーチャー



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『ギター・マガジン 2026 年 10 月号／高中正義～いま、世界が熱叫する常夏のギター・インスト』を、2026 年 9 月 11 日に発売しました。

高中正義

トロロカナルな顔は通れるがター・フレ
ズの言葉など、ユーモアに漏れた誇りの
でたつぷりと話してくれん。今、世界山
を歌わせる唯一無二のフレーズの顔面を
本人の言葉から解き明かしていこう。

—昨年の夏の中国、LA公演に続き、今年はUSA、ロンドン、オーストラリア、ニュージーランドの5公演もワールドツアーですね。この世界的旅をどう受け止めていますか？

夢だったから覚めないでほしい。もしかしらね、僕は長い夢を見ていて、そろそろ醒てる

30 年、船にきていてくれる人ほとんどが船の機
 材を加えていてくれて、5,000人この船のロシ
 ン達と、4,000〜5,000人の警察が僕の
 隣でチーのメロディを歌ってくれて
 いるんです。海外では特に
 アルバム『SEYCHELLES』の人
 気が高いみたいけど、あのアル
 バムは僕が23歳の時、からから
 30年経ったってんです。当時日本で
 いち広島の天理高等学校のシンデレ
 1人で、4,000〜5,000人が ★が歌って
 みたいの、芝居みたい夢だったの、23歳
 の時にカカと別れたから当時って税金が
 すごく高いし売れなくてとんでたわって

—今日のインタビューでは、なぜ現代のリ
スナーの多くに高中さんのギター・フレーズ
が愛され、大きな反響を生み出しているの
かという点に着目してお話を聞いていきま
いんです。まずソロ活動を始めた1976年
の時点では、自身で歌おうとしていたん
ですよ？

では、今の僕らどうですか。ちろん「ビートルズが好きで、ジョン・レノンやポール・マッカートニーの真似をして踊ったこと」で済むから、

かば、よく働いたり歌ったりしていた若い人が
ありますよ。日本の錢はあんまり働かないん
で……

そう、FNN(在京系軍向け)のラジオ放送局の台数、現在は440で日曜日に

た。当時はインストがほとんどなかったの
で、歌が中心でしたね。あ)は、僕が普通に「一

(1977年)の映画が流行れば、ディスコの

FEATURED SINGER
**TAKA
NAKA**

TAKANAKAを
象徴する愛用ギターたち

美しいクリーン・トーンを
決定づけた高中の代名詞

[illegible]

1964 Fende Stratocaste

[BACK](#)

ギタマガWEBでは昨年のツアーにおける
使用ギターのディテールまで徹底解説!

1988年にヤマハから2700本測定で発売された高中のシグネチャー・セーブル、SG-2000M1。狭く豪華にしまわれていたと、2010年頃に発見し、再びスタジオで使用するようになったそうだ。

本誌は1979年に軽便で製作された古いヤマハSG-2000を再発見したものだ。オリジナルのSG-2000は別冊のレーコーディングは読解し、その後もよく振込込ターンを繰り返して重宝していたため、高中のシグネチャーを数冊の1本として本誌も本誌もアイコニックな存在を放っている。

過去のインディーズにおいて、高中本人は「実録を製作してもらった」という関係でリアル・タイムにインタビューを受けるように行っていたが、その関係が事実を失って、「ういゝ急のリアルタイム（はいはい）だもんだ」と語ると、そのリアルタイムの「アップ・サンプル」という言葉が誤解を生じる誤用があり、本誌そのものが誤解している。実録と四角田ギョウブはイメージ、バグのイメージがバグ、キョウのバグはバグ、四角田はキョウを誤用しているはず。四角田とバグワードを混同しては、運用していたため、誰れだれがバグワードの用がスズキも再読している。故、新録は本人実録の実録を意図した仕立てになっている。

ただし、ヤベのバグは量産があるため、その負担が大きく、バグでは新録ではヤベ、新録のバグである。

1998 Yamaha
SG-2000 MT

海の色を再現した
“ラグーン・ブルー”のシグネチャーSG

SAC

TAKANAKA'S HANDS



世界を魅了するメロディとトーンを生み出してきた高中の両手をほぼ原寸大で閲覧。
 左手の指先には、なんと珠の跡がしっかり刻まれたマズダ!



いま、ジャパニーズ・フュージョンの先駆者的存在である高中正義の人氣が、国内外で再沸騰しています。ソロ・デビュー50周年を迎え、各地でライブが盛況を見せる一方、半世紀前に生まれ

た楽曲が SNS やストリーミングを通じて海外の若いリスナーにも発見され、その熱狂は世界へと広がっています。中でも驚くべきは、歌のないギター・インストでありながら、そのメロディを観客が口ずさみ、シンガロングするという、いまの時代には前代未聞ともいえる現象が起こっていることです。

なぜ、いま高中正義のギターがこれほどまでに歌われ、現代の音楽シーンへと波及しているのか。そして、その音楽が「フュージョン」やシティ・ポップという文脈を超え、幅広い層に受け入れられているのか？ その理由は、高中の音楽には海や南国を思わせる“常夏”の魔力が宿っており、そのトロピカル感溢れるギター・エッセンスこそが時代を越えて愛される大きな要素なのではないだろうか。

本特集では、その秘密を徹底的にギターの視点からひも解いていきます。最新の本人インタビューを軸に、1981 年の貴重なアーカイブ記事、使用機材、サウンドや奏法の分析、そして国内外の現代ミュージシャンへの影響まで、多角的にアプローチ。時代も国境もジャンルも越え、いま再び世界を魅了する“TAKANAKA”の正体に迫ります。

付録のギター・スコア集『GM SELECTIONS Special 南風を呼び起こす！高中正義のトロピカル・フュージョン』は、「トーキョーレギー」、「READY TO FLY」、「BLUE LAGOON」、「THUNDERSTORM」、「Saudade」という近年のライブ・ツアーでも演奏される定番曲を 5 曲セレクト。実際に弾いてみれば、常夏感溢れる高中ギターの秘密がわかるかもしれません。

第 2 特集は、“にっぽんのエレキ人 2026”と題し、国内の個性派ビルダー＆ブランドのキーマン 17 名にインタビューを実施。そもそも、1960 年代には OEM 製造で世界的なギター・ブームを支え、1970 年代には憧れの USA 製ギターの精緻な模倣でキッズの心に寄り添った日本のギター産業ですが、ギター作りのノウハウやクラフトマンシップは 2026 年現在にも脈々と受け継がれており、個性的なビルダーを多く生んでいます。そんなギター大国日本が誇るブティック・ギター・ブランドのビルダーや仕掛け人たちが語るギター製作への思いを聞けば、外国製ギターとはまた違う国産ギターの魅力が存分に伝わってくることでしょう。

■書誌情報

書名：ギター・マガジン 2026 年 10 月号

定価：1,500 円（本体 1,650 円＋税 10%）

発売：2026 年 9 月 11 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/magazine/detail/3126111006/>

■CONTENTS

●表紙／FEATURED GUITARISTS

高中正義

ソロ・デビュー 50 周年総力特集

いま、世界が熱叫する常夏のギター・インスト

- ・ Introduction 鳥居真道が読み解く なぜ、いま“高中正義”なのか？
- ・ Biography ソロ・デビューから世界再発見までの 50 年の軌跡
- ・ Interview 高中正義
- ・ Gear TAKANAKA を象徴する愛用ギターたち
- ・ Column 1 Dr.ファンクシッテラーが考察する コリー・ウォンを魅了したモダン・ファンク界に宿る TAKANAKA の魔力

- ・ Discography いまこそ聴きたいソロ初期 15 作
- ・ Archive Interview 本誌初登場インタビュー in 1981
- ・ Column 2 1981 年、伝説の武道館ライブ『RAINBOW GOBLINS STORY』の衝撃
- ・ ギター・サウンド研究 in 1981
- ・ Column 3 最新の高中サウンド考察
- ・ Special Interview 曾國宏（落日飛車）アジアを席卷する高中正義の熱風
- ・ Special Cross Talk 鳥山雄司×下中洋介
- ・ Column 4 今こそ振り返りたい J フェュージョン黄金時代
- ・ Playing Analysis 5 つのトピックスで紐解く高中正義のギター・マナー〜ギターを歌わせる極意・全・開！〜
- ・ ギタリスト、高中正義の手

●THE INSTRUMENTS

にっぽんのエレキ人 2026

個性派ビルダー & 国産ブランドのキーマンに聞くギター人生

- ・ Caramel's Guitar Kitchen 片田 タケシ
- ・ dragonfly 戸谷 達明
- ・ Euphoreal 藤野 州豊
- ・ Flur Guitars 渡辺 祐
- ・ Four Spirals Basses & Guitars 吉田 智哉
- ・ Freedom Custom Guitar Research 深野 真
- ・ Infinite 八田 聡
- ・ Kz Guitar Works 伊集院 香崇尊
- ・ Mary Guitars 丸井 優希
- ・ Nishgaki Guitars/Collectera 西垣 祐希
- ・ Providence 志村 昭三
- ・ Red House Guitars 石橋 良市
- ・ SAITO GUITARS 杣 音仁
- ・ stilblu 山田 浩幸
- ・ STR Guitars 八塚 悟
- ・ Style-S-Guitar 森田 茂清
- ・ T's Guitars 金澤 英治
- ・ 総評 大渡亮 (Do As Infinity)
- ・ Column にっぽんのエレクトリック・ギター革命史

●INTERVIEW & GEAR

- ・ コーネリアス

●INTERVIEW

- ・ マーク・スピアー (クルアンビン)

●SPECIAL TALK SESSION

- ・ ポール・ギルバート×DAIDAI (Paledusk)

●EVENT REPORT

PLAY CATCH -village 2026

●OPENING ACT

- ・三浦太樹（レイラ）

●PICKUP

- ・『Guitar magazine Archives Vol.9 ジョン・フルシアンテ』が発売！
- ・インタビュー～PRS Guitars 新 CEO ジャック・ヒギンボサム
- ・ねぎ塩豚丼 meets Positive Grid Spark LIVE

●連載

- ・（新連載）VIRTUOSO～マンガで読む伝説的ジャズ・ギタリストの人生 Vol.1 ウェス・モンゴメリー
- ・フェンダーカスタムショップに憧れて
- ・トモ藤田の“ギターは一日にして鳴らず！”
- ・ソエジマトシキの Dive to Neo Soul
- ・鳥居真道の古今東西ルーツ探究記
- ・崎山蒼志の“未知との遭遇”、他

●NEW PRODUCTS REVIEW

- ・FENDER / MADE IN JAPAN LIMITED ACTIVE MODERN STRATOCASTER
- ・EPIPHONE / BILLIE JOE ARMSTRONG LES PAUL JUNIOR
- ・PRS / JON JOURDAN LIMITED EDITION
- ・POSITIVE GRID / SPARK PEDAL
- ・UMBRELLA COMPANY / HUME
- ・HOTONE / PULZE JR
- ・PLAYTECH / GX121C CELESTION SPEAKER CABINET

●付録小冊子

『GM SELECTIONS Special 南風を呼び起こす！高中正義のトロピカル・フュージョン5選』

- ・「トーキョーレギー」
- ・「READY TO FLY」
- ・「BLUE LAGOON」
- ・「THUNDERSTORM」
- ・「Saudade」

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド＆レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー＆クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア＆コンテンツ事業を展開しています。多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp